

## 『第7回奨学財団 交流会』開催に際し、幹事財団の皆さまからのお言葉

### ○(公財)電通育英会 専務理事 有井 和久さま

「弊財団は『社会を牽引する次世代人材の育成』を使命として、大学生や大学院生を対象とする奨学事業や、人材育成活動への助成事業を行っています。

教育、人材育成に関わる社会環境の変化も大きく、また、コロナ禍のもとで、学生の大学生活や学びも急速に変わりつつあります。

この交流会を通じて、民間財団としての役割を考え、奨学財団同士の学びが深まり、さらに未来を創る若者の学びの機会の確保や、人材育成の取組みの進化につながっていくことができれば、と願っております。」

### ○(公財)日本教育公務員弘済会 事業課課長 深見 和孝さま

「長期間続いた緊急事態宣言が解除され、徐々に日常も戻りつつありますが、夏休みに向け、新型コロナの感染者が増加することも危惧されており引き続き注意が必要です。

当財団では今年度より、これまでの高校生向けの給付奨学金事業と合わせて新規に大学生向けの給付奨学金事業の募集を開始しております、開始したばかりで課題もありますが、この交流会で皆様からの貴重なお話を伺えれば幸いです。

今回もリモート開催となりましたが、近い将来、皆様と直接お会いし、交流できる日を楽しみにしております。」

### ○(公財)吉田育英会 事務局長 林 利浩さま

「コロナ禍において、当会では、奨学生の交流会をハイブリッド形式で取り組んできました。今年3月に直接集まる交流会を開催し、今年度も研修旅行など行えるよう企画を進めています。

交流活動にあたりコロナの影響を考慮しなければならない制約ができましたが、Zoom等の新たなコミュニケーション手段が普及し、地理的制限がなく効率よく面談できるようになった面もあり、良い点は活かしていければと考えています。

皆様と情報を共有し、より良い財団活動に繋がれたらと思っています。」